

令和 5 年度 小金井市立 小金井第四小学校 情報活用能力育成のための指導計画表 (Googleworkspace for education対応)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>情報活用能力に係る資質・能力 (教育の情報化の手引き-追補版-(令和2年6月)第2章)</b></p> <p>◎知識及び技能<br/>情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、技術に関する法、制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等<br/>様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力や問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。</p> <p>○学びに向かう力、人間性等<br/>情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること。</p> | <p><b>新学習指導要領のポイント【情報活用能力の育成(情報モラル含む)】</b></p> <p>情報活用能力を、言語能力と同様に「<b>学習の基盤となる資質・能力</b>」と位置付け。<br/>総則において、児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。</p> |
|--|---|

|   |  |
|---|--|
| <p><b>小金井第四小学校が目指す情報活用能力育成目標(資質・能力)</b></p> <p>◎知識および技能<br/>適切な使用場面を判断した上でコンピュータやインターネット等を情報収集や発信の学習道具として活用することができる。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等<br/>ICTを適切に活用し、問題解決ができる。</p> <p>○学びに向かう力、人間性<br/>情報活用能力や情報モラルの認識を高め、主体的・対話的に学習や活動に参加する。</p> | <p><b>新学習指導要領におけるプログラミング教育</b></p> <p>小学校プログラミング教育のねらい⇒「<b>プログラミング的思考を育む</b>」「<b>プログラミング的な思考</b>」とは自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力。各教科等の特質に応じて、「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的に実施する。</p> |
|---|--|

**各学年・アプリケーション等の具体的な情報活用能力育成目標**

| 学年   | 低学年  | 中学年   | 高学年   |
|--|--|---|---|
| <p><b>ドライブ</b></p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブにはデータが入っていることを理解する。</li> <li>指定されたデータを開くことができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要なフォルダやファイルを見つけ、データを開くことができる。</li> <li>画像などを指定したフォルダに保存することができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて作ったデータを友達と共有することができる。</li> <li>フォルダ内のデータをコピーしたり、移動したりすることができる。</li> </ul>  |
| <p><b>クラスルーム</b></p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスルームに入ることができる。</li> <li>先生からのお知らせを見ることができる。</li> <li>大人と一緒にミーティングに接続し、ミュートやカメラオフの設定ができる。</li> <li>先生からの資料を見ることができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人でミーティングに接続し、ミュートやカメラオフの設定ができる。</li> <li>クラスルーム内の質問や課題に取り組むことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の受取、提出ができる。</li> <li>先生の許可を得てからデータのURLをクラスルームに貼り付けたり、係等のお知らせなどを発信したりすることができる。</li> </ul>   |
| <p><b>スライド</b></p>         |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>スライドアプリを開き、スライドを見ることができる。</li> <li>ローマ字入力等で文字を打ち込むことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>スライドのテーマを変えたり、画像を貼り付けたりすることができる。</li> <li>取り込んだ画像やイラストにアニメーションをつけることができる。</li> <li>目的に応じてスライドの構成や見せ方を工夫できる。</li> <li>表やグラフを取り込むことができる。</li> <li>動画や音声を取り込むことができる。</li> </ul>   |
| <p><b>フォーム</b></p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>選択式の質問に答えることができる。</li> <li>記述式の質問に音声入力等で答えることができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な問題に解答し、正答を確認できる。</li> <li>簡単なアンケートやクイズを作成できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた回答方法を選び、アンケートやクイズなどを作成・活用できる。</li> </ul>   |
| <p><b>写真・動画</b></p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>写真を撮るアプリケーションだということを理解する。</li> <li>写真を撮影し、確認できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>動画を撮影し、確認できる。</li> <li>スクリーンショットができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて写真や動画を撮影し学習に活用できる。</li> </ul>  |
| <p><b>まなびポケット (主にコラボノートEX、スクールタクト)</b></p>   | <p>コラボノートEX、スクールタクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手書き入力(フリーペン)で自分の考えを表すことができる。</li> <li>音声入力や打ち込みで、自分の考えを表すことができる。</li> <li>自分のページに写真を挿入することができる。</li> </ul> <p>チャンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンネルを開き、指定のデータを開くことができる。</li> </ul> | <p>コラボノートEX、スクールタクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な場所に文字枠を作り、ローマ字入力等で挿入することができる。</li> <li>自分で撮った写真や、インターネットの画像を挿入することができる。</li> </ul>  | <p>スクールタクト、コラボノートEX</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて枠を工夫しながら共同編集をすることができる。</li> <li>表やグラフを活用することができる。</li> <li>アプリ内の機能を活用しながら、情報をまとめることができる。</li> </ul> <p>チャンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生の許可を得てから係等のお知らせなどを発信したり、URLを貼り付けたりすることができる。</li> </ul>                             |
| <p><b>プログラミング</b></p>     | <p>みんなでプログラミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的にたどり着くための命令を入力できる。</li> </ul> <p>プログラミングカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的地までの道順を考え、プログラミングカーを動かすことができる。</li> </ul>  | <p>みんなでプログラミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた命令を入力できる。</li> </ul> <p>マイクロビット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すとマークが出るプログラムを組むことができる。</li> </ul>            | <p>虹色ボックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己でゴールを設定し、意図した動きを行わせるためのプログラムを組むことができる。</li> </ul> <p>みんなでプログラミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた図形を描かせるためのプログラムを組むことができる。</li> </ul> <p>マイクロビット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人感や温度で照明のオンオフが切り替わるプログラムを組むことができる。</li> </ul> |
| <p><b>基本操作 情報モラル</b></p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>起動、ログイン、ログアウト、シャットダウンができる。</li> <li>全角、半角の切り替えができる。</li> <li>ICT機器を扱うときの約束や決まり、時間を守る。(クロームブックの約束、四小情報モラルチェックシートを参照)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>タイピングで文章を打ち込むことができる。</li> <li>人の作ったデータを大切にできる。</li> <li>画像をコピー、貼り付け、保存ができる。</li> <li>ICT機器を扱うときの約束や決まり、時間を守る。(クロームブックの約束、四小情報モラルチェックシートを参照)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>記号なども活用しながら文章を打ち込むことができる。(シフトキーの活用)</li> <li>文章やURLをコピーし、貼り付けることができる。</li> <li>ICT機器を扱うときの約束や決まり、時間を守る。(クロームブックの約束、四小情報モラルチェックシートを参照)</li> </ul>   |